報道関係者各位

プレスリリース

Shield 社と日本飛行機株式会社、
日本国内における V-BAT の整備・教育訓練支援体制を構築へ

― 国内初となる V-BAT の整備・修理・オーバーホール(MRO)契約を締結 ―

【東京発】2026 年 11 月 12 日 ― 米防衛テック企業の Shield 社（シールド、以下 Shield）と日本飛行機株式会社（以下、日本飛行機）は、日本国内における垂直離着陸（VTOL）型無人航空機システム「V-BAT」の整備・修理・オーバーホール(以下、MRO)業務に関する契約を締結しました。国内で同種としては初となる本 MRO 契約には、日本飛行機がグループ 3 無人航空機システム（UAS）に関する国内での技術基盤構築も盛り込まれています。

日本飛行機は、航空機の整備および製造において日本を代表する航空宇宙企業の一つです。同社は数十年にわたり自衛隊および米海軍の航空機を支えてきた実績を有しており、国内における V-BAT の支援基盤を構築・維持していくうえで、十分な知見と体制を備えています。これより同社は、Shield の国内における主要な MRO および教育訓練の提供事業者として、海上自衛隊に対し V-BAT の技術支援および整備支援を直接提供します。本契約は、日本飛行機における V-BAT の整備・運用に関する国内能力の確立と、日本国内における持続可能な専門技術人材及び基盤構築に寄与するものです。

MRO および教育訓練を国内で担う体制を整えることは、V-BAT を輸入装備品から、国内で持続的に維持・支援可能な装備へと移行させるうえで極めて重要なステップです。これにより、修理期間が短縮され、構成品を米国へ返送する際のロジスティクス上の負担が軽減されるとともに、日本国内において V-BAT の運用を長期にわたって支えることのできる人材が育成されます。

日本飛行機は、海上自衛隊向け V-BAT における Shield の主要パートナーとなり、将来的には、海上自衛隊以外の組織における今後の V-BAT 事業にもこれらの能力を展開していく可能性も検討しております。また、Shield は、事業開始当初から海上自衛隊向け V-BAT の調達を支援してきた住友商事グループの専門商社、住商エアロシステム株式会社とも引き続き緊密に連携しています。

日本飛行機株式会社　プロジェクトマネージャー　淺治邦裕(Kunihiro Asaji)コメント

「自衛隊にとって、国内で持続可能な整備・支援体制を確立することは、装備品の即応性を確保するうえで不可欠です。今回の Shield との協業により、当社がその役割を直接担うことが可能になります。また、本事業の進展に伴い、無人航空機の整備に関する当社社員の技能向上にもつながります」

Shield 国際事業開発 日本担当マネージング・ディレクター
ユージーン・“サンシャイン”・チョイ(Eugene Sunshine Choi)コメント

「日本は、アジア地域における米国の戦略的な同盟国です。今回の契約は、単なるサプライヤーではなく、長期的なパートナーとして日本に関わっていくという当社のコミットメントを示すものです。整備・修理・教育訓練の能力を日本の手に直接委ねることで、日本国内に高度な専門性を要する雇用を創出し、長期的な能力基盤を構築していきます」

Shield は日本における事業基盤への投資も進めており、サンシャイン・チョイが率いる東京オフィスを開設しています。同オフィスでは、拡大を続ける日本の顧客およびパートナーを現地で支援しています。これは、V-BAT が運用されるあらゆる地域において、持続的な現地能力を構築するという同社の広範な戦略を反映したものです。

日本飛行機株式会社について

1934 年に設立された日本飛行機は、航空機部品の製造、複合材技術、航空機の整備・修理・改造にわたる専門性を有する、日本を代表する航空宇宙企業の一つです。横浜および厚木の事業所を拠点に、長年にわたり自衛隊および民間航空宇宙分野の事業を支えてきました。詳細は同社 HP：https://www.nippi.co.jp/ をご覧ください。

住商エアロシステム株式会社について

住商エアロシステム株式会社は、住友商事グループにおける防衛・航空宇宙分野の専門商社です。日本国内における防衛・航空宇宙関連の製品およびシステムについて、専門的な事業開発、プログラム調整、サプライチェーン支援を提供しています。世界の先進的なテクノロジー企業や日本の官公庁顧客と緊密に連携し、日本市場における先進的な能力の導入、調達、長期的な維持整備を支援しています。同社は日本において Shield と緊密に連携し、V-BAT 関連の活動を支援するとともに、Shield と日本の関係者をつなぐ重要な窓口の役割を担っています。詳細は同社 HP： https://www.sc-aero.co.jp/ をご覧ください。

Shield 社について

2015 年に設立された Shield は、インテリジェント・システムによって軍人と民間人を守ることをミッションとする、ベンチャーキャピタルの出資を受けた防衛テック企業です。主な製品には、自律飛行ソフトウェア「Hivemind」、V-BAT および X-BAT の各機体、Aechelon のシミュレーションおよび合成現実（シンセティック・リアリティ）技術があります。米国、欧州、中東、アジア太平洋地域に拠点・施設を有し、同社の技術は世界各地での運用を支えています。詳細は 同社 HP：https://www.shield.ai/ をご覧ください。LinkedIn、X、Instagram、YouTube でも最新情報を発信しています。

V-BAT について

V-BAT は、ダクテッドファン方式と重質燃料（ヘビーフューエル）エンジンを採用した、グループ 3 の無人航空機システム（UAS）です。GPS 遮断や電波妨害を伴う電子戦環境での運用を前提に設計・試験され、実戦にも投入されている V-BAT は、大型システムと比べて大幅に低いコストと後方支援負担で、警戒監視・情報収集（ISR）および目標捕捉能力を提供します。単発エンジンとダクトで覆われたローターを備えた設計により、艦艇の甲板や都市部の屋上、インフラの限られた過酷な環境からでも、カタパルトや回収装置などの補助なしで安全に発進・回収することができ、特に海洋作戦および遠征作戦において高い効果を発揮します。

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

Shield 社　広報担当：Serene Koh（セリーン・コー）　E-mail：media@shield.ai
日本飛行機株式会社　お問い合わせ窓口：https://www.nippi.co.jp/jp/contact/
住商エアロシステム株式会社　お問い合わせ窓口：https://www.sc-aero.co.jp/contact/